



平成21年2月26日

報道機関各位

熊本大学企画部企画課広報室

第7回 熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター講演会
「沿岸域環境科学の最先端 基礎研究から保全・再生・防災まで」
を開催します。

有明海・八代海は、熊本県民にとってなじみ深い海で、貴重な海産生物が数多く生息する広大な干潟が広がっています。しかし近年、生物多様性の減少、漁獲量の激減、赤潮の多発、台風による高潮災害など、数多くの問題が発生しています。

沿岸域環境科学教育研究センターでは、有明海・八代海を中心とする沿岸域環境に関する幅広い教育研究活動を行っています。このたび、研究成果を広く市民の皆様にご公開し、地域に還元することを目的とした講演会を下記のとおり開催します。沿岸域環境に関する基礎研究から応用分野の保全・再生・防災まで、多岐にわたるテーマについて講演します。

つきましては、広く一般の方へお知らせいたくとともに、当日の取材方、よろしくお願いたします。

具体的には、自然と調和する沿岸域の環境保全や開発、防災、日本各地で絶滅が危惧されているハマグリ（熊本県は漁獲量日本一）など生物多様性の解明・保全、養殖ノリなど水産資源の保全・開発の研究を行っています。また、一般の方を対象にした公開講座や、子どもたちを対象にした海洋生物の観察会なども地域貢献・教育活動の一環として実施しています。

記

【日 時】平成21年3月13日（金）13：00～17：30

【場 所】熊本大学工学部百周年記念館（黒髪南地区）

【プログラム】詳細は別紙を参照願います。

【参加対象】どなたでも

参加申込み不要、参加費無料です。

熊本大学ホームページにも掲載しています。<http://www.kumamoto-u.ac.jp/>

～お問い合わせ～

熊本大学 研究部・国際部研究支援課 研究センター支援担当
TEL：096-342-3143

【プログラム】

[開 会] 13:00 ~ 13:05

挨拶：内野明德 沿岸域環境科学教育研究センター長

[講 演] 13:10 ~ 17:30

講演：センター教員20分、学外協力研究者30分、質疑：5分

- 13:10 ~ 13:35 「菊池川 - 緑川沖有明海における底生生物の生息環境の変遷」
秋元和實 准教授（水・地圏環境科学分野）
- 13:35 ~ 14:00 「スナガニ類の巣穴の助長効果について」
嶋永元裕 准教授（生物資源循環系解析学分野）
- 14:00 ~ 14:25 「養殖ノリの環境ストレス応答機構」
瀧尾進 准教授（生物資源保全・開発分野）
- 14:25 ~ 15:00 「塩性湿地および浅海域に生育する高等植物の分布と生態」
中西弘樹 教授（長崎大学教育学部；学外協力研究者）
- 15:00 ~ 15:15 休憩
- 15:15 ~ 15:50 「有明海奥部泥質干潟の環境と機能について」
瀬口昌洋 教授（佐賀大学農学部；学外協力研究者）
- 15:50 ~ 16:15 「熊本県におけるハマグリ現状と資源管理」
逸見泰久 教授（生物資源循環系解析学分野）
- 16:15 ~ 16:40 「陸と海の接点としての内湾域海岸線の構造・特性について
- 有明海と他地域の比較から」
五明 美智男客員教授（沿岸域社会計画学分野）
- 16:40 ~ 17:05 「有明海沿岸域を対象とした水処理技術システムの評価」
村野昭人准教授（沿岸域社会計画学分野）
- 17:05 ~ 17:30 「有明・八代海の現状とより良い環境創りに向けて」
滝川清 教授（水・地圏環境科学分野）

[閉 会] 17:30